

大学生の「食の安心感」に関する意識調査

調査の概要

関東の大学2校・短大1校および関西の短大2校の学生のうち、その趣旨および内容について同意した人(191名)を対象として、「食に関する安心感」について、自記式アンケート調査を実施(2011年)。

ハザードに対する不安感の強さ

	割合(%)					
	かなり不安だ	まあまあ不安だ	少し不安な気がする	それほど不安ではない	あまり気にならない	ほとんど気にならない
① 残留農薬	23	34	27	9	4	2
② 合成保存料	7	27	38	19	7	2
③ 天然添加物	7	7	18	35	23	11
④ 食中毒菌	61	25	9	2	2	1
⑤ GMO食品	13	21	26	22	14	4

ハザード不安感の順位相関

	① 残留農薬	② 合成保存料	③ 天然添加物	④ 食中毒菌	⑤ GMO食品
① 残留農薬					
② 合成保存料	0.59				
③ 天然添加物	0.42	0.61			
④ 食中毒菌	0.49	0.47	0.40		
⑤ GMO食品	0.36	0.49	0.47	0.47	

総合的な不安感の大きさの順位
上位・下位
25%に
含まれる
人を区分

	割合(%)		
	全体	上位群	下位群
通常の商品よりも「オーガニック食品」や「無添加食品」の方が安全だと思う。	38	47	33
保存料や着色料などの表示をチェックしてから商品を購入する方だ。	23	35	10 *
期限表示は必ずチェックして、できるだけ新しいものを買うようにしている。	56	57	57
店頭では、消費期限や賞味期限ができるだけ長い商品を選んでしまいがちだ。	48	47	53
最近の食品は安すぎて、何か気持ちが悪いような気がする。	12	16	6
食品の値段が安すぎることに、何か問題があるに違いないと思う。	26	35	20
食品事件の後の、政府や知事の「安全宣言」はあまり信用できないと思う。	37	49	35
産地偽装や期限表示偽装を防ぐために、もう少し積極的に取り締まりを行うべきだと思う。	44	53	31 *
農家や食品メーカーは、消費者の見えない所で何をやっているかわからないと思う。	26	35	22
生産・加工業者(団体)の自主規制や自主管理はあまり信用できない。	19	29	12 *
日本は農漁業生産者やメーカーの利益優先で、消費者の権利がないがしろにされていると思う。	10	20	6 *
食をめぐる諸問題の根底には消費者の「わがまま」があることが、もう少し強調されてもよいと思う。	22	14	24

* 青字のものは不安上位群と下位群の間で同意率に有意差あり(P<0.05)

食の安全に対する不安感が大きい人の方が、生産・加工者を信頼しない傾向



農研機構
食品総合研究所



代表研究者: 稲津康弘
所 属: 食品安全研究領域
食品衛生ユニット

問合わせ先: 029-838-8067 inatu@affrc.go.jp